

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 1 区分

【発行日】平成26年12月25日(2014.12.25)

【公表番号】特表2014-530000(P2014-530000A)

【公表日】平成26年11月17日(2014.11.17)

【年通号数】公開・登録公報2014-063

【出願番号】特願2014-531334(P2014-531334)

【国際特許分類】

C 1 2 N 15/09 (2006.01)

A 6 1 K 39/21 (2006.01)

A 6 1 P 31/18 (2006.01)

C 0 7 K 14/16 (2006.01)

【F I】

C 1 2 N 15/00 Z N A A

A 6 1 K 39/21

A 6 1 P 31/18

C 0 7 K 14/16

【手続補正書】

【提出日】平成26年11月7日(2014.11.7)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

Ψ 部位を欠き、サブタイプ D HIV-1 Gag-Pol タンパク質をコードする、複製欠損レンチウイルスパッケージ化ベクター。

【請求項 2】

前記 HIV-1 Gag-Pol タンパク質が、HIV-1 NDK の HIV-1 Gag-Pol タンパク質である、請求項 1 に記載のベクター。

【請求項 3】

前記ベクターが、配列番号：2 のアミノ酸配列をコードしている、請求項 2 に記載のベクター。

【請求項 4】

前記ベクターが、サブタイプ D HIV-1 Gag-Pol タンパク質をコードするヌクレオチド配列を含むプラスミドである、請求項 1 から 3 のいずれか一項に記載のベクター。

【請求項 5】

サブタイプ D HIV-1 Gag-Pol タンパク質をコードするヌクレオチド配列を、非 HIV プロモーターの制御下でプラスミドに挿入し、パッケージ化ベクターを作製することを含む、パッケージ化ベクターの製造方法。

【請求項 6】

前記 HIV-1 Gag-Pol タンパク質が、HIV-1 NDK の HIV-1 Gag-Pol タンパク質である、請求項 5 に記載の方法。

【請求項 7】

前記ベクターが、配列番号：2 のアミノ酸配列をコードしている、請求項 6 に記載の方法。

## 【請求項 8】

レンチウイルスベクターを用いて、サブタイプ D HIV-1 Gag-Pol タンパク質をコードするパッケージ化ベクターを、細胞に投与することを含む、レンチウイルスベクター粒子の作製方法。

## 【請求項 9】

前記パッケージ化ベクターおよびレンチウイルスベクターが、プラスミドである、請求項 8 に記載の方法。

## 【請求項 10】

前記細胞が、サブタイプ D HIV-1 Gag および Pol タンパク質を一時的に発現する、請求項 8 に記載の方法。

## 【請求項 11】

前記パッケージ化ベクターが、前記細胞のゲノムに組み込まれる、請求項 8 に記載の方法。

## 【請求項 12】

前記 HIV-1 Gag-Pol タンパク質が、HIV-1 NDK の HIV-1 Gag-Pol タンパク質である、請求項 8 に記載の方法。

## 【請求項 13】

前記パッケージ化ベクターが、配列番号：2 のアミノ酸配列をコードしている、請求項 12 に記載の方法。

## 【請求項 14】

さらに、サブタイプ B HIV-1 Gag-Pol タンパク質をコードする同じパッケージ化ベクターよりも高い力価のレンチウイルスベクターをパッケージ化するパッケージ化ベクターを選択することを含む、請求項 8 に記載の方法。

## 【請求項 15】

請求項 1 から 3 のいずれか一項に記載のベクターを含む細胞。

## 【請求項 16】

前記ベクターが、前記細胞のゲノムに組み込まれる、請求項 15 に記載の細胞。

## 【請求項 17】

サブタイプ D HIV-1 Gag および Pol タンパク質を含むレンチウイルスベクター粒子。

## 【請求項 18】

前記の Gag および Pol タンパク質が、HIV-1 NDK の Gag および Pol タンパク質である、請求項 17 に記載のレンチウイルスベクター粒子。

## 【請求項 19】

前記の Gag および Pol タンパク質が、配列番号：2 のアミノ酸配列をコードする核酸配列を発現させることによって製造される Gag および Pol タンパク質である、請求項 18 に記載のレンチウイルスベクター粒子。